

技術科

使用教材:教科書、学習ノート(1冊を3年間使用)、ファイル、実習教材

【学習の目標と学習方法】

・ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けに関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に評価する能力と態度を育てる。

<p>○授業について○ ※実技を伴う教科「技術」では、作品を完成させることが最終目標ではありません。それまでの過程も大切に、作業一つ一つの意義も含めて学習します。 ※授業観察においては、みなさんの変容を見ます。今まで出来なかったことが、授業での経験を通じて出来るようになったなど、達成感を味わえる授業を目指します。 ※手先が器用かどうかは重要ではありません。提出期限までを見据え限られた時間の中で課題解決を図ることが大切です。</p> <p>○生徒のみなさんに○ ※聞く時間、書く時間、作業の時間のメリハリを付け「今は何をすべきなのかを意識しながら授業に参加しましょう。 ※毎時間、目的意識を持って、時間を意識しながら進めましょう。</p>	<p>○家庭学習について○ ※授業で学習した知識や技術を家庭生活でも生かしてください。 ※様々な技術が、普段の生活でどのように使われているのか、意識して生活してください。</p> <p>○試験前はこのような取り組み○ ※試験の要点は、全て授業中に説明をします。重要なポイントはプリントやノートに記録し、試験前に復習しておきましょう。 ※ただ覚えるだけではなく、その意義や仕組みなども含めて理解するようにしましょう。 ※疑問点等は、できるだけ早く解決しておきましょう。</p>	<p>生活や技術への 関心・意欲・態度</p>	<p>生活を工夫し 創造する能力</p>	<p>生活の技能</p>	<p>生活や技術についての知識・理解</p>
		<p>評価観点</p>	<p>材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題の解決のために、主体的に技術を評価し活用しようとする。</p>	<p>材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見つけるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術を評価し活用している。</p>	<p>材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。</p>
		<p>評価資料</p>	<p>○授業観察(変容) ○提出物の内容 ○授業の振り返り</p>	<p>○授業観察(取組) ○提出物の内容 ○授業の振り返り ○製作品 ○定期考査</p>	<p>○授業観察(実技) ○製作品 ○定期考査</p>

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35H
	ガイダンス	コンピュータと情報通信ネットワーク	製作品の設計	製図	材料取り	けがき	切断	部品加工	接合	表面加工	材料加工の評価・活用		
2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35H
	生物育成			製作品の製作	電気を供給する仕組み	エネルギー変換を利用した製作品				プログラムによる計測・制御	情報の評価		
3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計18H
	材料と加工法	製作品の製作			金属製品の加工			エネルギー変換を利用した製作品				情報技術の未来	